

製品名: PTEN ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21527**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:47kD;Observed MW:56kD

抗原情報

遺伝子名	PTEN
別名	MMAC1 TEP1
遺伝子 ID	5728.0
SwissProt ID	P60484
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

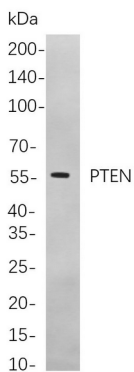
背景

細胞局在: 細胞質、核。ホスファターゼおよびテンシンホモログ (PTEN) ヒト。この遺伝子は、多くの癌において高頻度に変異する腫瘍抑制因子として同定された。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸

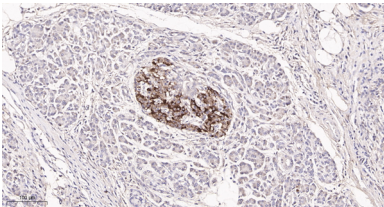
3-ホスファターゼである。テンシン様ドメインと、二重特異性タンパク質チロシンホスファターゼに類似した触媒ドメインを有する。ほとんどのタンパク質チロシンホスファターゼとは異なり、このタンパク質はホスホイノシチド基質を優先的に脱リン酸化します。細胞内のホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸の細胞内濃度を負に制御し、AKT/PKB シグナル伝達経路を負に制御することで腫瘍抑制因子として機能する。非標準的な (CUG) 上流開始部位の使用により、ロイシンで翻訳を開始するより長いアイソフォームが生成され、ミトコンドリア内膜に優先的に結合すると考えられています。この長いアイソフォームは、エネルギー調節に役立つ可能性があります。

研究分野

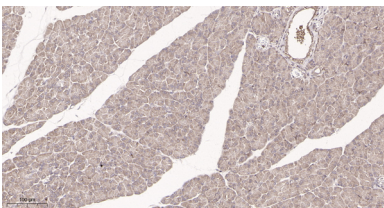
画像データ



MCF7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (PTEN ウサギ mAb 使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト膵臓組織の免疫組織化学分析。1、PTEN ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット膵臓組織の免疫組織化学分析。1、PTEN ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。